

SB エナジーと東北電力による 福井国見岳における風力発電事業（仮称）の 共同調査について

SB エナジー株式会社（エスビーエナジー、本社：東京都港区、代表取締役社長：三輪 茂基、以下「SB エナジー」）が進めている「福井国見岳における風力発電事業（仮称）」（以下「本事業」）について、このたび、東北電力株式会社（本社：宮城県仙台市、取締役社長 社長執行役員：樋口 康二郎、以下「東北電力」）が参画し、開発可能性調査を共同で実施します。

本事業は、福井県福井市の国見岳山麓に1基あたり4,200kW級の風力発電機を最大9基設置し、出力規模が最大3万7,800kW（約37.8MW）、年間予想発電量が一般家庭約2万9,106世帯分の年間電力消費量に相当する約1億478万3,600kWh/年（約10万4,784MWh/年）を見込む風力発電所を建設する計画で、2024年9月の着工、2027年5月の運転開始を予定しています。

また、SB エナジーは、地域の行政や住民の方々との関係性を強化することを目的に、7月19日、福井市内にSB エナジー 福井出張所を設置しました。SB エナジーと東北電力は今後、SB エナジー 福井出張所を拠点として地域住民の方々の理解を得ながら、両社の知見を最大限に活用して本事業を推進していきます。

SB エナジーは、今後も自然エネルギーの普及・促進を目指し、風力発電所をはじめとする自然エネルギー発電所の建設および運営を推進していきます。

東北電力は、風力発電を主軸とした再生可能エネルギー全般について、200万kWの開発を目指しており、早期に目標を達成できるよう、引き続き、再生可能エネルギー事業に積極的に取り組んでまいります。

以上

別紙 福井国見岳における風力発電事業（仮称）の概要